

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、9月号へのご感想・ご意見を紹介いたします。まず、特集「ビジネスグリッドコンピューティング」については、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■グリッド展開の1つの方向としてのビジネスグリッドはタイムリーな記事でした。しかも大企業を対象とするアプローチだけでなく、GridASPのような現実的解として期待できる展開は特に興味を引かれました。(平川正人)

■今まで言葉だけしか聞いたことのなかったビジネスグリッドのことがよく分かりました。贅沢をいえば、もう少し早い時期にこの特集が組まれてもよかったのではと思います。(匿名希望)

■大規模なシステムの運用、管理のすごさを垣間見させていただきました。(匿名希望)

■グリッドコンピューティングという考え方自体は昔からあるものですが、ビジネス用情報システムへの応用という面では、斬新な概念だと思います。非常に興味深く読ませていただきました。(菊地 誠)

解説「SNSの現在と展望ーコミュニケーションツールから情報流通の基盤へー」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■興味を持って読みましたが、社会的(Web的?)には、少し遅い記事ではないでしょうか? 情報処理の視点からは、もう少し早い分析が行われてもよかったのではと思います。新しい技術(社会的現象)への対応が遅いと感じました。(匿名希望)

■実際にSNSに参加し、ログイン率も高い私自身としては、SNSの取り組み等に関する記事が今号にあり面白かった。(匿名希望)

■mixiというSNSに強い関心を示す学生が多く、SNSとは何であるのか興味がありました。解りやすい論説で、参考になりました。(水野光朗)

■SNSのオープン化とメタデータについて書かれていましたが、この点について今後の展望をもう少し深く書いていただきたく思いました。(平島大志郎)

■SNSの歴史、研究の現状、今後の研究課題・展望について、

分かりやすくまとめてあり、大変参考になりました。

(匿名希望)

■「SNSの現在と展望」において、利用者自らが過剰な情報公開を行ってしまう等の問題が起きており、情報リテラシーの普及が必要であると筆者は述べている。確かにそうである。過剰な情報公開をシステムで自動的に回避することも可能だろう。(匿名希望)

連載「グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術『グリッドとSOAとの意外な関係』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■新連載の「グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術」が楽しみ。(根津芳香)

■タイトルのつけ方が絶妙でした。内容もよかったです。(黒田幸明)

連載「ナレッジマネジメント『ナレッジマネジメントによる“知の共鳴”』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■JAISTシャトルについてのエピソードを使用したミドルアップマネジメントの成功例は分かりやすく読めました。このような具体的な事例を使用した解説は分かりやすく思えます。(平島大志郎)

■知の共鳴の事例を紹介されていたので、とても参考になりました。新たな気づきがありました。(匿名希望)

■本連載は大変広い視野からの分析であり、以前の連載とは趣を異にしていたように思う。特に移動大学のくだりには関心を持った。「知の共鳴」は我々の目指すところを端的に表現する良いフレーズだと思った。「知の共鳴」で現代社会が抱える複雑な問題を一気に解決できるわけではなく若干楽観的だと感じる反面、理想論としてこのような枠組みを打ち立てておくことも重要だと思った。(匿名希望)

コラム「研究会千夜一夜『連載開始にあたって』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■研究会を非常に身近に感じることのできるような連載だと思います。今後の連載に期待しています。(平島大志郎)

■今回は少々硬めでした。次回からの本番に期待します。(黒田幸明)

■ぜひ多くの読者の期待を裏切らないような良いものにしてください。(匿名希望)

■他の研究会の内容が紹介されるようなので、楽しみにしています。他の研究会がどんな活動をされているのかわかりませんので、それを知ることができると期待します。(山田宏之)

■各種統計量から研究会活動の様子を垣間見ることができま

した。 (匿名希望)

コラム「オープンソース事情『Ruby 成功の秘訣』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ Rubyが、「長続きしたから成功した」というのが印象に残りました。 (匿名希望)

■ Rubyについて、大変平易かつ解りやすい論考で、勉強になりました。 (水野光朗)

■ Rubyに興味があったため、世界的に広まり成功するまでのエピソードは非常に面白く読めました。 Ruby on Railsが生まれるまでのエピソードも書いていただくと、より広い読者の関心を得られたのではないかと思います。 (平島大志郎)

■ 1人の個人が作り始めたプログラミング言語が、メーリングリストによるコミュニティの力でどんどん育っていく過程が書かれており、とても面白かったです。「開発動機の維持」について「コミュニティに啓発されつつプログラミングする楽しさにはまっている間にあっという間に時間が過ぎ去った」と書かれています。楽しいと感じることは、仕事に飛躍的発展をもたらす非常に重要な要素なのだと思えました。楽しいと感じる環境を作る上で、ネット上のコミュニティが大きな役割を果たした成功例としてとても興味深いです。 (匿名希望)

書評『『おもしろい』のゲームデザイン ー楽しいゲームを作る理論』につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ 書評を復活していただけてうれしく思います。これからはより幅広い書籍を扱っていただけるとうれしいです。 (平島大志郎)

■ 土井氏による書評が面白かった。今後も、商業雑誌とは違っ

た切り口の書評を求む。 (根津芳香)

■ 今回、書評があったのはとてもよかった。よくまとめてあり、読んでみたいという意欲を起こさせるものであった。読書のよい指針になった。これからも続けてほしい。 (匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■ 解説「動向情報の要約と可視化 一言と図で情報をまとめるー」および「携帯電話機のソフトウェアプラットフォーム」の記事も大変興味深く読ませていただきました。 (平川正人)

■ コラム「標準化よもやま話『JPEG特許に関する最近の話題』」について：毎回面白い話が読めて楽しい。長く連載をお願いしたい。 (匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■ 実践的IT教育がさまざまな機関で取り組まれています。特集で取り上げていただけるとありがたいです。 (黒田幸明)

■ 目次が「特集／解説／連載／コラム」と内容のカテゴリー別になっていて、ページの順番になっていないのは、不便に感じます。目次に掲載されている順に、各記事が並んでほしいと思います。 (匿名希望)

■ 今月も読みこなすほど十分な時間がなかったのが悔やまれる。 (匿名希望)

【本誌担当 白井良成、柳本豪一／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

## ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL:<http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03)3518-8375  
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4712.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
	平成18年度優秀教育賞・優秀教材賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/ED-Award2006boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/ED-Award2006boshu.html</a>	12月19日(火)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-G.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-G.html</a>	12月31日(日)		
12月14日(木)～ 12月15日(金)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2006」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-CH2006.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-CH2006.html</a>	9月15日(金)	12月4日(月) 定員になり次第 ※当日参加も可能です	同志社大学
12月15日(金)～ 12月16日(土)	第68回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS68.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS68.html</a>	10月16日(月)	当日のみ	京都精華大学
12月16日(土)	第5回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EC5.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EC5.html</a>	10月13日(金)	当日のみ	京都工芸繊維大学
12月17日(日)～ 12月18日(月)	第4回教育学習支援情報システム研究グループ発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CMS4.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CMS4.html</a>	10月27日(金)		熊本大学
12月21日(木)～ 12月22日(金)	第64回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLP64.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLP64.html</a>	10月20日(金)	当日のみ	名古屋大学
12月21日(木)～ 12月22日(金)	第62回数理解モデル化と問題解決・第7回バイオ情報学合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS62BIO7.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS62BIO7.html</a>	10月26日(木)	当日のみ	電気通信大学
2007年				
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-J.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-J.html</a>	1月19日(金)		
	平成18年度長尾真記念特別賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h18boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/h18boshu.html</a>	1月19日(金)		
	論文誌「インタラクションの理解とデザイン」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-F.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-F.html</a>	3月31日(土)		
	論文誌「人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-C.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-C.html</a>	4月6日(金)		
1月11日(木)～ 1月12日(金)	第157回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM157.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM157.html</a>	10月25日(水)	当日のみ	立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)
1月12日(金)	『攻めのIT, 守りのIT～企業戦略にしめるIS戦略の位置づけの変化を探る～』チュートリアル <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ISTutorial.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ISTutorial.html</a>		1月10日(水)	日本IBM(株)本社
1月15日(月)～ 1月19日(金)	SAINT2007 The 2007 Symposium on Applications and the Internet <a href="http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/">http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/</a>	7月1日(土)		広島国際会議場
1月17日(水)～ 1月18日(木)	2007年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS2007) <a href="http://www.hpcc.jp/hpcs/">http://www.hpcc.jp/hpcs/</a>			つくば国際会議場
1月17日(水)～ 1月18日(木)	第128回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM128.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLDM128.html</a>	11月10日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月18日(木)	東海支部主催講演会「ウニ卵黄タンパク質の研究とICT」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>		参加費無料 (参加資格は 問いません)	愛知県立大学 学術文化交流センタ 小ホール
1月18日(木)～ 1月19日(金)	第62回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO62.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO62.html</a>	11月10日(金)	当日のみ	メルパルク沖縄
1月22日(月)～ 1月23日(火)	第163回計算機アーキテクチャ・第3回組込みシステム合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC163EMB3.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC163EMB3.html</a>	11月20日(月)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月23日(火)	第110回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL110.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL110.html</a>	11月23日(木)	当日のみ	電気通信大学
1月23日(火)～ 1月26日(金)	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007) <a href="http://www.aspdac.com/aspdac2007/">http://www.aspdac.com/aspdac2007/</a>	7月10日(月)		パシフィコ横浜
1月25日(木)	ソフトウェアアジア2007			タワーホール船堀
1月25日(木)～ 1月26日(金)	ウィンターワークショップ2007・イン・那覇 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SEW2007.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SEW2007.html</a>			ホテルオーシャン, 他
1月25日(木)～ 1月26日(金)	第141回データベースシステム・第62回グループウェアとネットワークサービス・第16回放送コンピューティング研究グループ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBS141GN62.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBS141GN62.html</a>	11月24日(金)	当日のみ	メープル有馬 (神戸市有馬温泉)
1月26日(金)	第59回デジタルドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD59.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD59.html</a>	11月22日(水)	当日のみ	九州大学 伊都キャンパス
1月29日(月)	短期集中セミナー「組込みシステム技術の展望」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2006/emb.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2006/emb.html</a>	1月22日(月)	定員になり次第	化学会館7Fホール
1月30日(火)～ 1月31日(水)	第104回システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/OS104.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/OS104.html</a>	12月1日(金)	当日のみ	立命館大学 びわこ・くさつキャン パス エボック立命
2月7日(水)	東海支部主催講演会「量子誤り訂正符号の構成法」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		参加費無料 (参加資格は 問いません)	愛知工業大学 本山キャンパス
2月19日(月)～ 2月20日(火)	第126回グラフィクスとCAD研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG126.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG126.html</a>	12月15日(金)	当日のみ	新宿三井ビル
3月5日(月)	第8回バイオ情報学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html">http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html</a>		当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月6日(火)～ 3月8日(木)	第69回全国大会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html</a>		2月9日(金)	早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月9日(金)	第44回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM44.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM44.html</a>	1月19日(木)	当日のみ	筑波大学
3月14日(水)～ 3月15日(木)	第99回情報システムと社会環境研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS99.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS99.html</a>	12月22日(金)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月15日(木)～ 3月16日(金)	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム <a href="http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html">http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html</a>			中央大学・ 後楽園キャンパス
3月15日(木)～ 3月16日(金)	インタラクション2007 <a href="http://www.interaction-ipsj.org/">http://www.interaction-ipsj.org/</a>	10月26日(木)		学術総合センター/ 一橋記念講堂
9月5日(水)～ 9月7日(金)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム			中京大学 豊田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 11月15日 ソフトウェアジャパン 2007 開催 [1月25日 タワーホール船堀] 参加申込受付中 [締切: 1月18日]
- 11月15日 人材募集情報 (11月) 更新しました
- 11月15日 高校教科「情報」未履修問題とわが国の将来に対する影響および対策
- 10月23日 IT フォーラム ユーザスタディフォーラム「第6回シナリオ創発ワークショップ」論文募集 (投稿締切 11/19)
- 10月5日 ソフトウェアジャパン 2007 ではスポンサー・サポーターを募集しております

[学会からのお知らせ]

- 11月13日 論文誌 (ジャーナル) の論文査読状況を更新しました
- 10月13日 「インタラクションの理解とデザイン」特集の論文募集
- 10月10日 日本学術会議: 声明「科学者の行動規範について」
- 10月2日 平成18年度長尾真記念特別賞・業績賞候補者推薦募集

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法**：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限**：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金**：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)  
賛助会員(企業) 31,500円(〃)  
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)  
\*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

**申込先**：情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

\*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

## ■東京大学情報基盤センター・キャンパスネットワーキング研究部門

**募集人員** 助教授または講師 1名  
**担当業務** ネットワークの高機能化・高度化と情報セキュリティにかかわる研究。情報セキュリティの確保と向上を含む、キャンパスネットワークの幹線部と支線部の構築と運用・管理、および情報システムの構築と運用・管理  
**応募資格** 博士学位を取得済みであること。平成19年1月1日において40歳以下であることが望ましい  
**着任時期** 可能な限り早い時期  
**提出書類** 履歴書、実務歴説明書(A4用紙で2,3枚程度で、詳しく記述すること)、研究歴と研究業績リスト(主要論文別刷を添付のこと)、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先、本センターに応募する理由と抱負(1200字程度)  
**応募締切** 平成18年12月25日(必着)  
**送付先** 〒113-8658 東京都文京区弥生2-11-16 東京大学情報基盤センター 総務係宛 親展として「キャンパスネットワーキング研究部門応募書類在中」と朱書 \*応募書類は返却いたしません  
**照会先** 情報基盤センター 総務係 E-mail:soumu@itc.u-tokyo.ac.jp Tel(03)5841-2710  
**その他** 面接を行うことがあります

## ■徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

**募集人員** 助手 1名(常勤)  
**所属** 情報ソリューション部門感性情報処理大講座  
(併任)先端技術科学教育部知能情報システム工学コース基礎情報工学講座  
(併任)工学部知能情報工学科基礎情報工学講座  
**専門分野** 自然言語処理、感性情報処理、知能メディア、多言語情報検索・要約・翻訳・活用など  
**担当科目** ソフトウェア設計および実験、コンピュータ入門など  
**応募資格** 着任までに博士またはPh.D.の学位を有し、35歳以下、上記専門分野に従事または興味を持ち、新しい問題に積極的にチャレンジする意欲的な若手研究者  
**着任時期** 平成19年3月1日、またはそれ以降の早い時期  
**提出書類** 履歴書、研究業績リスト(学術論文(学位論文も含む)、国際会議発表論文(学術論文と重複するものはその旨記載)、国内学会発表、著書、解説、特許などに分けて記載)、教育に関する抱負(A4用紙1枚以内)、研究に関する抱負(A4用紙1枚以内)、主要学術論文別刷(5編以内、コピー可)、応募者について所見をいただける2名の方の推薦書または氏名と連絡先  
**応募締切** 平成19年1月15日(必着)  
**送付先/照会先** 〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科 教授 任 福継(学科長)  
E-mail:ren@is.tokushima-u.ac.jp Tel(088)656-9684 Fax(088)656-6575 「教員(助手)応募書類在中」と朱書し簡易書留  
\*原則として提出書類は返却いたしません  
**その他** 詳細はWebページ(<http://www.e.tokushima-u.ac.jp/Koubo/index.html>)をご覧ください  
提出書類の個人情報については、教員選考の目的以外には使用しません。相応しい候補がいれば、応募期限前に選考を開始することがあります  
【選考方法】一次選考：書類審査、二次選考：面接

## ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター

募集人員 助教 1名(任期付き)  
専門分野 科学技術計算サービスを含む情報環境の構築と管理・運用およびこれらに関する研究開発  
応募資格 博士の学位を有し、上記分野に熱意を有する方  
着任時期 平成19年4月1日(予定)  
提出書類 履歴書、研究業績リスト(研究論文は、国際論文誌、査読付き国際会議、国内の論文誌、その他に分けて年代の逆順にリストしてください)、主要論文別刷(3編程度、コピー可)、左記論文の評価の参考になる特記すべき事項なども含めてこれまでの研究の概要(1000字程度)、システム管理経験、これまでの研究およびシステム管理経験を踏まえて本学情報環境の構築と管理・運用および科学技術計算サービスへの抱負(1500字程度)、紹介者2名の連絡先(E-mailアドレスを含む、紹介者への照会は、選考の過程で必要に応じて行います)  
応募締切 平成19年1月19日(必着)  
送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター 松澤照男  
E-mail:matuzawa@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1301(直通) Tel(0761)51-1300(情報科学センター代表番号)  
「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留  
その他 本学の情報および情報科学センターの詳細はJAISTのWebページ(<http://www.jaist.ac.jp>)をご覧ください  
【任期】公募している本助教の任期は5年と定められています。ただし、本人からの再任申請に基づき、審査を経て3年の延長が認められます。また、テニュア制の導入が予定されています  
【選考方法】これまでの研究、システム管理経験、本学での抱負などを精査し、また必要に応じて紹介者の意見を参考に候補者を決定いたします。選考の途中で、提出いただいた資料に関する説明やその他の資料の提出、講演などをお願いする場合があります。応募者の秘密は厳守します

## ■岩手県立大学ソフトウェア情報学部およびソフトウェア情報学研究所

募集人員 准教授または講師 1名  
専門分野 データベースシステム学、データエンジニアリング、ユビキタス・データコンピューティングに関する分野  
担当講座 データベースシステム学  
担当科目 学部・大学院での「ソフトウェア設計学」、「ファイルとデータベース」、「ソフトウェア設計特論」および「基盤情報特論」ならびに修論・博論指導  
応募資格 次の条件を満足する方:博士の学位を有する方、大学院博士課程の研究教育指導が担当でき、情熱を持って教育・研究・学生指導にあたる方、年齢40歳未満の方  
着任時期 平成19年4月1日(予定)  
提出書類 履歴書(学歴、職歴、学会活動、受賞歴などを含む)、研究業績リスト(著書、学位論文、学術雑誌論文、国際学会論文などに分類)、学位論文(コピー可)、主要著書・学術論文別刷(コピー可)と学位取得証明書、教育に関する業績および教育に関する見解(1000字程度)、参考となる意見を伺える方2名からの推薦書と連絡先  
応募締切 平成19年1月31日(17:00必着)  
送付先 〒020-0173 岩手県滝沢村滝沢字菓子152-52 岩手県立大学ソフトウェア情報学部長 菅原光政 「データベースシステム学講座教員応募書類在中」と朱書し簡易書留 \*応募書類は返却いたしません  
照会先 ソフトウェア情報学部事務室 E-mail:softjimu@ml.iwate-pu.ac.jp Tel(019)694-2500(ダイヤルイン)  
その他 選考にあたっては書類・業績審査の後、面接を実施し、決定いたします。選考結果は応募者ご本人に通知します

## ■広島大学大学院工学研究科情報工学専攻

募集人員 助教授 1名  
所属 情報コミュニケーション工学講座(システム数理論教育科目)  
専門分野 情報学基礎(計算理論、言語理論、プログラム理論、数理論理学など)  
担当科目 大学院工学研究科において「情報学基礎特論」、総合科学部において「論理と計算」および数学科目(微分学、積分学、線形代数学などの講義および演習)  
応募資格 博士の学位を有し、大学院(博士課程)の担当ができる方  
着任時期 平成19年10月1日  
提出書類 履歴書(学歴、職歴、学界ならびに社会における活動、受賞歴などを含む)、研究業績リスト(学位論文、査読付き学術雑誌論文、国際会議論文、著書、特許などに分類)、研究論文概要(学位論文概要と研究論文概要に分類して、A4用紙に2枚以内)、学位論文・主要学術論文別刷(5編以内、コピー可)、情報工学への応用を含む今後の研究計画(A4用紙に2枚以内)、教育実績および教育業績(教育経験や工学教育に関する論文・著書など)、教育に関する見解(A4用紙に1枚以内)、取得研究費(過去10年間に取得した研究費のリスト)、応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名と連絡先  
\*選考状況により別途書類などの提出を求めることがあります  
応募締切 平成19年2月2日(必着)  
送付先/照会先 〒739-8527 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学大学院工学研究科情報工学専攻 桑田正秀  
E-mail:kuwada@mis.hiroshima-u.ac.jp Tel(082)424-6468 Fax(082)424-0756 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留

■(株)豊田中央研究所

募集人員 正社員 1名  
 職務内容 自動車の走行環境認識  
 応募資格 画像認識の経験を有する修士以上の方  
 着任時期 平成19年4月1日以降(応相談)  
 提出書類 応募職種・職務内容を明記の上、次の書類をお送りください:履歴書、職務歴(研究実績)、論文リスト、主要論文別刷(コピー可)  
 応募締切 平成19年3月31日(必着)  
 送付先/照会先 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1 (株)豊田中央研究所 総務部人事課 羽田, 宮崎  
 E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744  
 その他 Webページ (http://www.tytlabs.co.jp/)



ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会  
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
 Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



# ソフトウェアジャパン 2007 開催のご案内

## テーマ：社会を変えるイノベーション

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2007/>

**開催日時：**平成 19 年 1 月 25 日(木) 9:30-17:30  
**開催会場：**タワーホール船堀 (都営新宿線 船堀駅下車 徒歩1分)  
**主催：**情報処理学会

**協賛(予定)：**独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター, 社団法人 情報サービス産業協会,  
 社団法人 日本情報システムユーザ協会, 社団法人 電子技術産業協会, XML コンソーシアム,  
 社団法人 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会

**後援(予定)：**文部科学省, 総務省, 経済産業省

情報処理学会では「日本のソフトウェアに新しい風を起こす」という理念を掲げ、ソフトウェア分野での産・官・学の交流を促進する場として、2004 年 10 月に「ソフトウェアジャパン 2004」を、2006 年 2 月に「ソフトウェアジャパン 2006」を開催し、多数の企業・大学等からのご支援を頂き、大きな反響を得ました。当会ではこの活動をさらに発展させ、IT に関する幅広い課題を実務家の視点からオープンに議論できる、開かれたコミュニティとして「IT フォーラム」を今年度創設し、7 つのフォーラムが活動を始めました。

このような背景のもと、IT フォーラムの活動を中心に、IT による「社会を変えるイノベーション」の創出をテーマとして、IT ベンダのみならず IT ユーザの各分野の技術者、研究者、経営者、また、学界・官公庁関係の方々が、ともに問題意識を共有し、議論、交流を深める場として「ソフトウェアジャパン 2007」を開催致します。皆様、奮ってご参加下さい。

- 参加費 : 一般(会員・非会員共):5,000 円 / 一般 IT フォーラム登録者(会員・非会員共):無料  
 学生(会員・非会員共):無料
- 懇親会費 : 無料
- 参加申込 : 標記のソフトウェアジャパン 2007 Web ページから申込み下さい。
- 参加申込締切 : 平成 19 年 1 月 18 日(木)17:00
- 問合せ先 : 情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧ください。

### ■全体プログラム

<b>9:30-11:55 第1セッション:イノベーション セッション</b> <span style="float:right">[会場 5F 大ホール]</span>	
9:30-10:15	[テクノロジーのイノベーション] 調整中
10:20-11:05	[社会(女性)のイノベーション] 「女性技術者、研究者の活躍支援」(仮題) 國井 秀子((株)リコー 常務執行役員 ソフトウェア研究開発本部 本部長)
11:10-11:55	[ビジネスのイノベーション] 「知識ベース・イノベーション」(仮題) 紺野 登(コラム代表 / 多摩大学大学院 教授)
<b>11:55-12:05 IT フォーラムの紹介(IT フォーラムセッションのイントロダクション)</b> <span style="float:right">[会場 5F 大ホール]</span>	
徳田 英幸(情報処理学会 技術応用運営委員会委員長, 慶應義塾大学環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員長)	
<b>13:15-15:15 第2セッション:IT フォーラム セッション</b> *各フォーラムセッションのプログラムは次ページ以降参照 <span style="float:right">[会場 各 IT フォーラム会場]</span>	
以下 6 つの IT フォーラムによるセッション ・イノベティブ社会基盤 フォーラム ・サービスサイエンス フォーラム ・IT アーキテクト/CIO フォーラム ・ Web2.0 フォーラム ・ユーザスタディ フォーラム ・福祉情報システム フォーラム	
<b>15:30-17:35 第3セッション:ザ・ジャパンソフトウェア セッション</b> <span style="float:right">[会場 5F 大ホール]</span>	
15:30-16:30	「トロンプロジェクトの過去、現在、未来」(仮題) 坂村 健(東京大学大学院情報学環 教授)
16:35-17:35	「Ruby in the World」 まつもと ゆきひろ((株)ネットワーク応用通信研究所 特別研究員)
<b>17:50-19:45 懇親会</b> <span style="float:right">[会場 2F 福寿]</span>	

有料会告

## ■第2セッション：ITフォーラムセッション プログラム（13:15-15:15）

### イノベティブ社会基盤フォーラム「イノベーションを育む環境をどう構築するか」 [会場 5F 大ホール]

**【セッション概要】**イノベーションは経済に活力をもたらす重要な要因として高い注目を集めてきた。また、グローバル化と BRICs 諸国の台頭、我が国に於ける少子高齢化の進展による労働人口の減少といった環境の中で、イノベーションは、経済の活力を維持するための労働生産性を向上させるための道筋の一つとしても取り上げられることが多くなってきている。本フォーラムでは、研究者、大企業のマネージャ、ベンチャー企業の幹部など異なる環境でそれぞれ技術に携わる者が集まり、どうすればイノベーションを育むかについて議論を重ねてきた。本セッションではケース分析や実践を踏まえて、個人、組織、社会それぞれのレイヤについてイノベーションを育む環境をどうやって構築していけるかについて、議論を深めていく。

13:15-13:45 講演1「PCの歴史にみるイノベーションの契機と経緯」  
楠 正憲（マイクロソフト(株) 最高技術責任者補佐）

13:45-14:15 講演2「イノベーションを育むための5つの習慣」  
小野 和俊（(株)アプレッソ 代表取締役副社長 CTO）

14:25-15:15 パネル討論「イノベーションを育む環境をどう構築するか」  
司 会：神成 淳司（IAMAS 講師、株式会社 BA 総研 COO）  
パネリスト：小野 和俊（(株)アプレッソ 代表取締役副社長 CTO）  
大向 一輝（国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 助手）  
楠 正憲（マイクロソフト(株) 最高技術責任者補佐）  
許斐 俊充（ナショナルインスツルメンツ(株) 戦略マーケティングマネージャ）  
中嶋 謙互（コミュニティーエンジン(株) 代表取締役 CEO）

### サービスサイエンスフォーラム「サービスサイエンスへの期待」 [会場 2F 桃源]

**【セッション概要】**サービスサイエンスへの期待を具体化する為に、以下のようなポイントについてディスカッションを行う。

- (1)サービスを分類する
- (2)サービスを分解する
- (3)サービスを整理する
- (4)サービスをモデル化する
- (5)サービス品質を定量化する
- (6)サービスに関する言葉を整理する
- (7)サービスサイエンスの実践のヒントを紹介する

13:15-13:45 講演「サービスサイエンスの実践のヒント」  
諏訪 良武（ワクコンサルティング(株) 執行役員）

13:45-15:15 パネル討論「サービスサイエンスへの期待」  
司 会：門倉 純一（日本アイ・ビー・エム(株) 経営イノベーション ISV アライアンス 副主管）  
パネリスト：吉田 民人（東京大学 名誉教授）  
公文 俊平（多摩大学情報社会学研究所 所長）  
間瀬 俊明（デジタルプロセス(株) 代表取締役社長）  
諏訪 良武（ワクコンサルティング(株) 執行役員）

### ITアーキテクト／CIOフォーラム「ITアーキテクトの仕事論」 [会場 2F 福寿]

**【セッション概要】**昨今 IT システムはマルチベンダ化が進み、多種多様なハードウェア、ソフトウェアを組み合わせることで開発することが通常となっている。また、ビジネス環境は多様な変化にスピーディに追随することが要求され、IT システムは事務の効率化を図る道具から、企業にとってより戦略的かつ不可欠なコンピテンシーへと発展してきた。このような変化に富んだ状況においてビジネスと IT を連携させ、きちんとした方針に従って IT システムの全体最適設計を行うのが IT アーキテクトである。しかしながら、IT アーキテクトという職種がクローズアップされ始めたのはここ数年のことであり、まだまだ IT アーキテクトの実態が広く認識されているとは言い難い。本セッションでは、IT アーキテクトが行うべき仕事と、その責務について多方面で活躍中のオピニオン・リーダー達を招き、それぞれのポジションから、さらには会場の声もまじえてディスカッションを行う。

13:15-13:45 講演「ITアーキテクトの仕事論」  
榊原 彰（日本アイ・ビー・エム(株) ディスティングイッシュト・エンジニア、エグゼクティブITアーキテクト）

13:45-15:15 パネル討論「ITアーキテクトの責務」  
司 会：榊原 彰（日本アイ・ビー・エム(株) ディスティングイッシュト・エンジニア、エグゼクティブITアーキテクト）  
パネリスト：西 康晴（電気通信大学 電気通信学部システム工学科 講師）  
萩原 正義（マイクロソフト(株) デベロッパー&プラットフォーム統括本部 ソフトウェア・アーキテクト）  
平鍋 健児（(株)チェンジビジョン 代表取締役社長）  
二上 貴夫（(株)東陽テクニカ ソフトウェア・システム研究部 部長）  
湯浦 克彦（(株)日立コンサルティング テクニカルディレクター）

■第2セッション：ITフォーラムセッション プログラム (13:15-15:15)

Web2.0 フォーラム「Web2.0の本質を探る」		[会場 2F 平安]
<p><b>【セッション概要】</b>Web2.0が業界のバズワードとして注目を集めている。Web 2.0は、情報活用のあり方を大きく変える重要なパラダイム・シフトと考えられるが、バズワードとしての過剰な盛り上がりゆえに、その本質が見のがされる傾向がある。本セッションでは、Web 2.0をテクノロジーおよびメディア論の観点から冷静に分析し、そのインパクト、将来動向、産業界や研究者が進むべき方向性について考察する。</p>		
13:15-13:45	<p>講演1「情報基盤としてのWeb 2.0」 栗原 潔((株)テックバイザージェイピー 代表取締役・弁理士)</p>	
13:45-14:15	<p>講演2「Media as a Service」 渡辺 聡(渡辺聡事務所代表)</p>	
14:25-15:15	<p>パネル討論「Web2.0の本質を探る」 司 会:栗原 潔((株)テックバイザージェイピー 代表取締役・弁理士) パネリスト:渡辺 聡(渡辺聡事務所代表), 他, 数名の業界の実務家・識者が参加予定</p>	
ユーザスタディフォーラム「Human-Centered Design に基づいたフィールドワークおよびデザインのあり方」		[会場 2F 瑞雲]
<p><b>【セッション概要】</b>革新的な製品、サービスの開発に欠かせない手法として、Human-Centered Design (HCD:人間中心の設計)が、世界的な注目を集めている。本講では、HCD 実現のためのエスノグラフィ調査、すなわち、ユーザの観察・記述の方法論に関して、またロボットデザインにおけるHCDの実践に関して、日本および米国で活躍する研究者とデザイナー3名による講義を行う。また、ワークショップ形式を用い、HCDの手法を会場全体で体験することも考えている。なお、本講では、講師と参加者のインタラクションを通じ、皆様が業務を通じて感じている、ユーザ理解に関する課題や疑問の共有を行う。参加者の積極的な話題提供を期待している。</p>		
13:15-14:30	<p>講演1「エスノグラフィの哲学概念、実践法、およびHCDに向けた有効性に関する議論」 野村早恵子(カリフォルニア大学サンディエゴ校 研究員) 山内 裕(Palo Alto Research Center 研究員)</p>	
14:35-15:15	<p>講演2「HCDに基づくロボットデザイン」 園山 隆輔 (TDF 代表)</p>	
福祉情報システムフォーラム「ハートウェア・ジャパン!? - 情報のユニバーサルデザインを考える」		[会場 2F 蓬莱]
<p><b>【セッション概要】</b>ユニバーサルデザインを、参加者とともに多面的に考える。はじめに、招待講演者として関根千佳氏をお招きし、「ユビキタス情報社会におけるユニバーサルデザイン」とはなにかを探究する。ユニバーサルデザインの基本コンポーネントであるアクセシビリティとユーザビリティ、および人間中心設計の考え方をとりあげ、開発者や組織ができること、なすべきことはなにかを明らかにする。また、「協調によるユビキタスなユニバーサルデザインの実現」として、ユーザとともに考える姿勢を基本としつつ、これからの情報システムは、家電は、人々はどう協調すべきかという問題を提起する。さらに、現場の要約筆記者や聴講者とともに講義・講演の情報保障環境を創りあげてきたPC要約筆記ツールIPtalkとその発展過程を題材に、「協調の場作りとツールの協創」を考える。 ※当日の情報保障については、標記のソフトウェアジャパン 2007 Web ページでご案内いたします。</p>		
13:15-13:45	<p>招待講演「ユビキタス&amp;ユニバーサルな日本を目指して」 関根 千佳 ((株)ユーディット 代表取締役)</p>	
13:50-14:10	<p>講演1「協調によるユビキタスなユニバーサルデザインの実現」 萩川 友宏 (静岡大学情報学部 助手)</p>	
14:15-15:35	<p>講演2「PC要約筆記ツールIPtalk - 協調の場作りとツールの協創」 栗田 茂明 (パソコン要約筆記サークル「ラルゴ」会長)</p>	
15:40-15:15	<p>自由討論 司 会:坂根 裕(デジタルセンセーション(株)) パネリスト:関根 千佳((株)ユーディット) 萩川 友宏(静岡大学情報学部) 栗田 茂明(パソコン要約筆記サークル「ラルゴ」)</p>	

# 第69回全国大会 聴講参加・講演論文集予約の御案内

## ー情報処理は社会に何を与えるか?ー

大会会期：平成19年3月6日（火）～ 8日（木）

大会会場：早稲田大学 大久保キャンパス（東京都新宿区大久保 3-4-1）

第69回全国大会の「大会聴講参加」「講演論文集」ならびに「懇親会参加」の予約受付をいたします。  
本大会では、以下のイベント企画も開催する予定であります。皆様どうぞお誘い合わせのうえお申込ください。

**予約申込受付期間：平成18年12月15日～平成19年2月9日（〆切 19：00）**

**招待講演企画**：招待講演3件を予定しております。

招待講演(1)	「Stories from the Early History of Computing」 Michael Williams (IEEE-CS会長) 6日(火)13:30-14:45 第1イベント会場[57号館 2F201]
招待講演(2)	「システムバイオロジー研究の最前線」 北野 宏明 (特定非営利活動法人 システム・バイオロジー研究機構 会長) 7日(水)13:00-14:15 第1イベント会場[57号館 2F201]
招待講演(3)	「大学発超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦」 中須賀 真一 (東京大学 大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授) 8日(木)13:00-14:15 第1イベント会場[57号館 2F201]

**イベント企画**：以下のイベント企画を予定しております。各イベント企画では第一線で活躍されておられる講師をお招きし講演、パネル討論等の開催を予定しております。

特別セッション(1)	<b>安全・安心を保障する組込みソフトウェアに向けて</b> 6日(火)10:00-12:30 第1イベント会場[57号館 2F201] 10:00-10:45 講演(1):「次世代のシステムソフトウェア研究」 所 真理雄(ソニー) 10:45-11:15 講演(2):「e-Society プロジェクトにおける高信頼性組込みソフトウェアへの取り組み」 岸 知二(北陸先端大) 11:15-12:30 パネル討論「次世代組込みソフトウェアにおける産学連携」 司 会:中島 達夫(早大) パネリスト:岸 知二(北陸先端大), 菅谷 みどり(早大), 田丸 喜一郎(IPA/SEC), 所 真理雄(ソニー)
特別セッション(2)	<b>情報爆発時代における理論と実際</b> 7日(水)9:30-12:00 第1イベント会場[57号館 2F201] 9:30-9:50 基調講演(1)「情報爆発と実世界インタラクション」 西田 豊明(京大) 9:55-10:15 基調講演(2)「計算理論の現実の場での応用例 -講演者の経験から」 徳山 豪(東北大) 10:20-12:00 パネル討論「理論と実際のコラボレーションは可能なか?」 司 会:山下 雅史(九大) 宇野 毅明(国立情報学研), 小林 直樹(東北大), 武田 英明(国立情報学研) 徳山 豪(東北大), 豊田 正史(東大), 西田 豊明(京大)
特別セッション(3)	<b>真に社会的受容をもたらすイノベーションの創出へむけてー新しいユーザー像と提供価値ー</b> 7日(水)14:30-16:30 第1イベント会場[57号館 2F201] 14:30-14:50 趣旨説明 上林 憲行(東京工科大) 14:50-16:30 パネル討論 司 会:上林 憲行(東京工科大) パネリスト:生活の視点:伊藤 淳子(エイガアル) 教育の視点:高橋 正視(教育ソフト研究所) 医療の視点:中島 和江(大阪大学医学部付属病院) オフィスワーカーの視点:山崎 竹視(富士ゼロックス) 全体を認知科学、とりわけ人とシステムの界面から考察:原田 悦子(法政大)
特別セッション(4)	<b>産学連携によるIT人材の育成</b> 8日(木)9:30-12:00 第1イベント会場[57号館 2F201] 9:30-10:10 基調講演(1)「新しい情報技術・社会をになうプロフェッショナルへの期待」 岩野 和生(日本IBM) 10:10-10:50 基調講演(2)「トップエスエーの目指すものーサイエンスによる知的ものづくり教育ー」 本位田 真一(国立情報学研) 11:00-12:00 パネル討論「IT人材教育における大学の役割,企業の役割」 司 会:筑 捷彦(早大) パネリスト:岩野 和生(日本IBM), 大岩 元(慶大), 西尾 章治郎(阪大), 本位田 真一(国立情報学研)
特別セッション(5)	<b>文部科学省 先導的ITスペシャリスト人材育成推進プログラム</b> 8日(木)14:30-17:00 第1イベント会場[57号館 2F201] 14:30~14:45 講演(1)「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラムの概要(仮題)」 一居 利博(文部科学省) 14:45~15:15 講演(2)「各育成拠点の取組み紹介」 筑波大学グループ:田中 二郎(筑波大) 東京大学グループ :竹内 郁雄(東大) 慶應大学グループ:徳田 英幸(慶大) 名古屋大学グループ:野呂 昌満(南山大) 大阪大学グループ:井上 克郎(阪大) 九州大学グループ :福田 晃(九大) 15:30~17:00 パネル討論「先導的ITスペシャリスト育成推進プログラムへの期待」 司 会:西尾 章治郎(阪大) パネリスト:産官からのメンバー:山下 徹(NTT データ) (予定), 富野 壽(構造計画研究所), 鶴保 征城(SEC) 育成拠点からのメンバー:徳田 英幸(慶大), 田中 二郎(筑波大), 竹内 郁雄(東大)

シンポジウム (1)	<p><b>情報専門学科カリキュラム J O 7ーその骨子</b>          6日(火)10:00-12:30 第2 イベント会場[57号館 2F202]          10:05-10:20 基調報告「J07プロジェクトの設定」 箕 捷彦(早大, J07プロジェクト連絡 委員会委員長)          10:20-10:35 報告(1)「情報専門学科での達成度調査」 佐渡一広(群馬大, 達成度調査WG)          10:35-10:50 報告(2)「CS 領域の知識項目」 疋田 輝雄(明大, CS 委員会委員長)          11:00-11:15 報告(3)「IS 領域の知識項目」 神沼 靖子(埼玉大, IS 委員会委員長)          11:15-11:30 報告(4)「SE 領域の知識項目」 西 康晴(電通大, SE 委員会幹事)          11:30-11:45 報告(5)「CE 領域の知識項目」 大原 茂之(東海大, CE 委員会委員長)          11:45-12:00 報告(6)「IT 領域の知識項目」 駒谷 昇一(NTTソフトウェア, IT 委員会委員長)          12:00-12:30 質疑応答</p>
シンポジウム (2)	<p><b>5周年を迎えた JABEE 認定制度：現状分析と今後の展望</b>          6日(火)15:00-17:30 第2 イベント会場[57号館 2F202]          15:03-15:15 講演(1)「JABEEによる大学教育へのインパクト(1)」 掛下 哲郎(佐賀大)          15:15-15:27 講演(2)「JABEEによる大学教育へのインパクト(2)」 宇津宮 孝一(大分大)          15:27-15:39 講演(3)「非認定校から見た JABEE 認定制度の課題」 天野 英晴(慶大)          15:39-15:51 講演(4)「産業界の IT 人材育成と大学への期待」 富野 壽(JISA)          15:51-16:03 講演(5)「JABEE および産学連携教育の現状」 山野井 昭雄(JABEE)          16:03-17:30 総合討論          司 会:牛島 和夫(九産大)          パネリスト:天野 英晴(慶大), 宇津宮 孝一(大分大), 掛下 哲郎(佐賀大), 富野 壽(JISA), 山野井 昭雄(JABEE)</p>
シンポジウム (3)	<p><b>情報家電ネットワーク：技術とサービス ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は？</b>          7日(水)9:30-12:00 第2 イベント会場[57号館 2F202]          9:30-9:45 講演(1)「情報家電ネットワーク・サービスの最新動向」 阪田 史郎(千葉大)          9:45-10:00 講演(2)「情報家電サービス普及に向けた共通プラットフォーム技術」 松岡 恭正(三菱電機)          10:00-10:15 講演(3)「電力線通信(PLC)の最新動向」 北口 進(シャープ)          10:15-10:30 講演(4)「デジタル放送の IP マルチキャスト伝送技術」 藤田 欣裕(NHK 放送技研)          10:30-10:45 講演(5)「家庭向ブロードバンドコンテンツサービス」 石原 篤(ソフトバンク BB)          10:45-11:00 講演(6)「デジタルコンバーゼンスは何をもたらすか」 山上 俊彦(ACCESS)          11:10-12:00 パネル討論「情報家電ネットワークとサービス ニーズとシーズとのギャップを埋める方策は？」          司 会:阪田 史郎(千葉大)          パネリスト:石原 篤(ソフトバンク BB), 北口 進(シャープ), 中島 達夫(早大), 藤田 欣裕(NHK 放送技研), 松岡 恭正(三菱電機), 山上 俊彦(ACCESS)</p>
シンポジウム (4)	<p><b>“competitive learning(競合学習)”を進めよう (仮題)</b>          7日(水)14:30-17:00 第2 イベント会場[57号館 2F202]          14:30 - 15:15 基調講演(1)「情報オリンピックと日本での取り組み」 谷 聖一(日大)          15:15 - 15:45 基調講演(2)「What's ICPC」 Bill Poucher (Baylor University, ACM ICPC Director)          15:45 - 16:05 基調講演(3)「ICPC への日本での取り組み」 柴山 悦哉(東工大)          16:15 - 17:00 パネル討論「“competitive learning(競合学習)”を進めよう」          司会:繁富 利恵(産総研)          パネリスト:谷 聖一(日大), 柴山 悦哉(東工大), 他調整中</p>

■聴講参加費・講演論文集代(税込)

申込種別	予約価格(2/9迄)	定 価
大会聴講参加費(正会員)	3,000円	3,000円
大会聴講参加費(正会員)*CD-ROM付き	8,000円	8,000円
大会聴講参加費(一般非会員)	6,000円	6,000円
懇親会参加費一般(正会員・一般非会員)	4,000円	5,000円
懇親会参加費学生(学生会員・学生非会員)	2,000円	3,000円
講演論文集分冊	7,000円	9,000円
講演論文集セット*CD-ROM枚付き	35,000円	43,000円
講演論文集CD-ROM	7,000円	7,000円
送料	セットおよびセット冊数以下	---
	セット冊数以上	---
	CD-ROM 1枚につき	---

■問合先

〒101-0062東京都千代田区神田駿河台1-5化学会館4F  
 社団法人情報処理学会 事業部門  
 電話(03)3518-8373, FAX(03)3518-8375  
 e-mail:jigy@ipsj.or.jp

■留意事項

※学生の大会聴講参加費は無料です。  
 ※講演論文集、CD-ROM共に事前発送は致しておりません。  
 受取りは当日会場受取りか大会終了後の郵送となります。  
 ※講演論文集またはCD-ROMを郵便で受け取る場合には  
 別途送料がかかります。  
 ※懇親会は、3月6日(火)18:00から会場内57号館B1F  
 食堂にて開催の予定です

■聴講参加および講演論文集のお申込、詳細は、以下のサイトからお願いいたします。

**第 69 回全国大会公式サイト** <http://www.ipsj.or.jp/10jigy/taikai/69kai/>

CALL FOR PARTICIPATION

**SAINT-2007**

**The 2007 Symposium on Applications & the Internet**

**ORGANIZING COMMITTEE**

**General Chairs:**

Erich J. Neuhold, University of Vienna, Austria  
Hiroshi Esaki, Univ. of Tokyo, Japan

**Program Chairs:**

Karl Aberer, EPFL, Switzerland  
Hiroyuki Morikawa, Univ. of Tokyo, Japan

**Workshop Chairs:**

Ling Liu, Georgia Tech, USA  
Atsuhiko Goto, NTT, Japan

**Panel Chairs:**

Wolfgang Klas, University of Vienna, Austria  
Yasuo Okabe, Kyoto University, Japan

**Publicity Chairs:**

Haruo Takemura, Osaka University, Japan  
Koji Okamura, Kyushu University, Japan

**Local Arrangements Chairs:**

Ray Aibara, Hiroshima University, Japan  
Kaori Maeda, Hiroshima City University  
Asako Toyoda, NiCT, Japan

**Registration Chairs:**

azutoshi Fujikawa, NAIST, Japan

**Publication Chairs:**

David Buttler, Lawrence Livermore National Lab,  
USA  
Shigeru Miyake, Hitachi, Japan

**Industry Liaison Chairs:**

Hideki Sunahara, NAIST, Japan

**Financial Chairs:**

Joachim Hammer, University of Florida, USA  
Shigehiro Ano, KDDI Labs., Japan

**Web Master:**

Yutaka Nakamura, Kyushu Institute of Tech., Japan

**Designated Technical Committee Chair:**

Jie Wu, Florida Atlantic University, USA  
Ray Aibara, Hiroshima University, Japan

**International Liaison Chairs:**

Mikio Aoyama, Nanzan Univ. Japan

**Shepherd for Students (Ph.D Workshops):**

Yuji Oie, Kyushu Institute of Tech., Japan

**Awards Chairs:**

Carl Chang, Iowa State University, USA  
Shinji Shimojo, Osaka University, Japan

**Steering Committee Chair:**

Sumi Helal, University of Florida, USA

**CONFERENCE PROGRAM**

Conference Program information including Keynotes  
and Panels will be informed on

**SAINT2007 Website.**

<http://www.saintconference.org/>  
go to > **SAINT2007 Homepage** link.



**Hiroshima, JAPAN**  
**January 15-19, 2007**

<http://www.saintconference.org/>



**Co-sponsored by:**  
**the IEEE Computer Society (IEEE-CS)**  
**and the Information Processing Society of Japan (IPSJ)**

*Cooperate with:*

National Institute of Information and Communications Technology (NICT), Japan

**THEME : The Pervasive Internet**

Over the past few years, the Internet has been revolutionizing the way we communicate and access information. As a result, today the Internet accommodates a wide variety of information repositories, services, people, communities, and cultures and supports a diverse range of communication and interaction paradigms. The Internet is also becoming to be ubiquitous and pervasive; accessible and usable from any device and through any network, including wireless and mobile. SAINT focuses on emerging and future Internet applications and their enabling technologies. The symposium provides a forum for researchers and practitioners from the academic, industrial, public and governmental sectors, to share their latest innovations on Internet technologies and applications. Areas of particular interest include, but are not limited to:

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| <b>Internet Application Areas:</b>   | <b>Enabling technologies for the Internet:</b> |
| - Content Management                 | - Software Architectures                       |
| - Content Delivery:                  | - Standards                                    |
| - Web Services                       | - Internet Security                            |
| - E-Business                         | - Network and Protocol Architectures           |
| - Collaboration                      | - Information Appliances                       |
| - Internet communities               |  |
| - Wireless and Mobile Internet       |  |
| - Ubiquitous and Pervasive Computing |  |

**WORKSHOPS :**

SAINT2007 will feature workshops to provide forums for researchers and practitioners to share knowledge and exchange ideas on cutting-edge topics in Internet and applications. Papers selected by SAINT workshops will be published in a separate volume as an integral part of the SAINT2007 proceedings. There is only one registration fee for both the main conference and workshop participants who can attend any conference sessions. The following 9 workshops are anticipated:

1. Next Generation Service Platforms for Future Mobile Systems (SPMS 2007)
2. Networked RFID
3. Middleware Architecture in the Internet
4. Educational Challenges to Deploy the Internet
5. Network Mobility (WONEMO)
6. Ubiquitous Networking and Enablers to Context-Aware Services
7. The Second International Workshop on Dependable and Sustainable Peer-to-Peer Systems (DAS-P2P 2007)
8. Practical Applications of Sensor Networking
9. Internet Measurement Technology and its Applications to Building Next Generation Internet

**For your Registration and Hotel Reservation (Advanced registration will be closed on December 4<sup>th</sup> 2006)**

<http://www.saintconference.org/> > **SAINT2007 Homepage** > **Go to Registration Page**

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1ページ、1/2ページまたは 1/4ページ	（主催・共催）	
			1ページ	52,500円
			1/2ページ	31,500円
			1/4ページ	21,000円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000円
			賛助会員（企業）	31,500円
			賛助会員以外の企業	52,500円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

#### ■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4判カメラレディまたはPDFファイル（フォント埋め込み）とします。  
（1ページ） 天地 260mm × 左右 175mm  
（1/2ページ） 天地 130mm × 左右 175mm  
（1/4ページ） 天地 65mm × 左右 175mm  
\* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mailまたはFax、郵送にてお送りください。  
[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]  
\* なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

#### ■申込期限

毎月15日を締切日とし、翌月号（15日発行）に掲載します。

#### ■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払ください。

#### ■掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

# 学生会員のみなさまへ

平成18年度研究会の中から  
無料で1件登録できます！

今すぐ  
チェックして  
申し込もう！



<平成18年度研究会一覧>



### お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。  
無料申請は1件のみです。



事務局へ FAX (03-3518-8375)

年 月 日

会員番号

E-Mail

フリガナ  
氏名

### お問合せは

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台 1-5  
化学会館 4F  
(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当  
Tel(03)3518-8372 (研究部門直通)  
Fax(03)3518-8375 (共通)  
E-mail:sig@ipsj.or.jp

データベースシステム
ソフトウェア工学
計算機アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム
システム LSI 設計技術
ハイパフォーマンスコンピューティング
プログラミング
アルゴリズム
数理モデル化と問題解決
組込みシステム
マルチメディア通信と分散処理
ヒューマンインタフェース
グラフィクスと CAD
情報システムと社会環境
情報学基礎
オーディオビジュアル複合情報処理
グループウェアとネットワークサービス
分散システム/インターネット運用技術
デジタルドキュメント
モバイルコンピューティングとユビキタス通信
コンピュータセキュリティ
高度交通システム
高品質インターネット
システム評価
ユビキタスコンピューティングシステム
自然言語処理
知能と複雑系
コンピュータビジョンとイメージメディア
コンピュータと教育
人文科学とコンピュータ
音楽情報科学
音声言語情報処理
電子化知的財産・社会基盤
ゲーム情報学
エンタテインメントコンピューティング
バイオ情報学

詳しくはこちら  
Webからも申し込めます



<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenkyukai/toroku.html>



## 書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

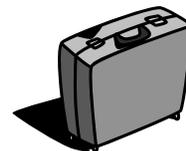
### 1. 募集対象

次の2種類の記事について、原稿を募集します。

- a) 書評：過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート：情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

### 2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



### 3. 応募の手続き

- 1) 表題：書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。  
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名（会議レポートの場合は筆者名）・所属・評者連絡先（住所、E-mail、Faxなど）の記載を忘れずに。
- 3) 本文：書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) （必要であれば）参考文献、付録、図、表をつける。  
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>)を参照してください。

### 4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

### 5. 照会／応募先

（社）情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

## 会員サービスのご案内

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

#### ◆ ホテル（10～53%割引）

サンルートホテル、チサンホテル、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、第一ホテルチェーン、JR 東日本ホテルチェーン、ガーデンホテルズ、三井観光グループ／ホテル、全日空ホテルズ、都ホテルズ&リゾーツ、ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京

#### ◆ レンタカー（10～48%割引）

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

#### ◆ パック旅行（3～7%割引）

ジェイティービー、日本旅行、近畿日本ツーリスト、東急観光、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

#### ◆ その他（書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス）

UC 丸善アカデミックカード、バーシティウェブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で）、デスカット、日本工業技術振興協会

## ご意見をお寄せください!

【1月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4712.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
  2. ご所属 Tel. (            )            -
  3. E-mail:
  4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
  5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
  6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
  7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
  8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ ..... 8-
  9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9-
  10. 今月号 (2006年12月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]
- 特集: 量子コンピュータと量子計算
1. 量子コンピュータ ..... 10-1-
  2. 量子情報処理と光による研究 ..... 10-2-
  3. Shor のアルゴリズムのための効率的な量子回路 ..... 10-3-
  4. 情報・物理双方から見た量子探索アルゴリズム ..... 10-4-
  5. 量子回路の自動設計手法 ..... 10-5-
  6. 量子-古典協調計算 ..... 10-6-
  7. 量子通信計算量理論 ..... 10-7-
- 標準化よもやま話: 思い出に残る国際会議 ..... 10-8-
- これからの情報処理学会: 21世紀社会における IT の役割 ..... 10-9-
- ストリーム暗号の最新動向 ..... 10-10-
- エネルギーキーデバイスとして注目される電気二重層キャパシタ ..... 10-11-
- 教養としてのコンピュータ・サイエンス教育 ..... 10-12-
- 研究会千夜一夜: ゲーム情報学とゲーム情報学研究会 ..... 10-13-
- 研究会千夜一夜: エンタテインメントコンピューティング研究会 ..... 10-14-
- グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術: WS-Notification の基礎 ..... 10-15-
- オープンソース事情: OSS はどこまで使えるのか? ..... 10-16-
- 21世紀のコンパイラ道しるべ: COINS をベースにして: COINS における並列化 ..... 10-17-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
  12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

「おんぶにだっこ」が続いた特集の記事依頼。精力的に動いてくれた河野さんのために『せめて1つの記事だけでも取りつきたい』そうした思いが高まっていきました。『井元さんに頼んでみましょうか?』『井元先生はとてもお忙しい方なので難しいと思います』実感のこもった河野さんの反応でした。『今回は無理かな』そうあきらめかけたとき、『手塚治虫は忙しいときほど原稿依頼を断らなかつた』昔見たTVの映像を思い出しました。『井元さんは漫画家鳥山明の大ファン。ひょっとするといけるかな?』わずかな可能性に賭けて井元さんに電話しました。『…ということで、ぜひとも井元さんに特集記事の執筆をお願いいたします』『いいですよ』快諾でした。7月の末のことです。

11月に入って河野さんからメールが届きました。『井元先生

から原稿はおくられてきましたか?』『まだです。直接連絡をとって状況をお知らせします』井元さんと私は25年にわたる音楽仲間。『記事に穴をあけたくないのでよろしくお願ひします』『はい、この土日に頑張ります。…ところで最近ヴァイオリン弾いてます? 私は大阪にピアノを運びこんできています』『研究室にですか?』『いやまさか』『井元さんとは自宅が近いのに残念です』『お互い忙しいですが、また一緒にできるといいですね』数日後の早朝送られてきた原稿に、井元さんが渡英された年“1990年4月”の文字を見つけました。渡英直前の3月、『ピアノッシモ』をもじって『イソガッシモ』を連発し、研究の夢を熱く語る井元さんを懐かしく思い出しました。

(白木善尚/本特集エディタ)

### 次号(1月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」安全と安心のための画像処理技術

安全・安心のための画像処理技術の概要/危険を察知する車載画像処理技術/鉄道と乗降客の安全を確保する画像認識技術/画像によるエレベータ内異常検知技術/プライバシーを考慮した映像サーベイランスシステム/環境を認識することの法的解釈/画像認識を用いて安心を提供する情報セラピー

#### 解説

リビングから始めるユビキタス-情報家電インタフェース-..... 橋本政朋 他

#### 報告

IEEE CS 60th Anniversary (仮) ..... 中島秀之  
IEEE セイモア・クレイ賞 (仮)..... 渡辺 貞  
高専プロコン関係 (仮) ..... 堀内征治

#### 委員会から

IFIP - 情報処理国際連合 - 近況報告 ..... 中島秀之

連載 グリッドとSOA からみる Web サービス標準技術/これからの情報処理学会/「情報学を創る」- 科研プロジェクトがめざしたもの

コラム オープンソース事情/研究会千夜一夜/標準化よもやま話

#### 複写される方に

##### 〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

#### Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

http://www.copyright.com

# 掲載広告カタログ・資料請求用紙

## 広告のお申込み

### ■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

### ■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会  
 発行部数 30,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

### ■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27

(株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*左記料金はポジフィルム納入による料金です。  
 \*版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。

## 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

### ■「情報処理」 47巻12号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース…………… 表2対向       ソフト・リサーチ・センター…………… 前付2上  
 オーム社…………… 前付3  
 サイエンス社…………… 目次前,  
 前付最終  
 すべての会社を希望

### ■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____ )		
TEL	( _____ )	-	FAX ( _____ )
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は  
**広告総代理店 (株) 精機通信社**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20～50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

**MITSUBISHI**  
*Changes for the Better*

三菱電機 (株)

### ●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ  
(株) NTT データ

**Google**

グーグル (株)



NTTコムウェア  
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

**Microsoft**

マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3～9口)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

**Panasonic**  
ideas for life

松下電器産業 (株)

### 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約90名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375